



Sapporo
Medical University

平成28年度

文部科学省採択 未来医療研究人材養成拠点形成事業

北の地域医療を支える 総合診療医養成プラン



札幌医科大学

建学の精神

- 一、進取の精神と自由闊達な気風
- 一、医学・医療の攻究と地域医療への貢献

理念

最高レベルの医科大学を目指します

人間性豊かな医療人の育成に努めます
 道民の皆様に対する医療サービスの向上に邁進します
 国際的・先端的な研究を進めます

行動規範

- 1 医学と保健医療学を通じて、北海道そして広く日本社会さらに世界に貢献します。
- 2 最高の研究・教育・診療レベルを目指します。
- 3 法令を遵守し、生命倫理・研究倫理・社会倫理を尊重します。
- 4 地域と社会に対して必要な情報を公開します。
- 5 人権・人格・個性を尊重し、差別・ハラスメントの無い環境を目指します。
- 6 生命倫理・社会倫理を脅かす反社会的行為に対し毅然として対応します。
- 7 地域・地球環境を守り、環境の保全・改善のために行動します。



●大学のシンボルマーク

「だ円」(枠組み)は宇宙の調和、「1945」は本学の創基年、「七光星」は北海道の象徴、「羽」は発展と飛躍、「柏の葉」は英知と質実、「へびと杖」は医学のシンボル、アスクレピオスの杖を、それぞれ表現しています。

CONTENTS

- 事業の全体構想 2
- 北の地域医療を支える総合診療医養成プランの事業概要 ... 3
- ごあいさつ 4
- **総合診療医養成特化コース** 6
- **総合診療マインドを持つ専門医養成コース** 6
- 学部教育 8
- 継続的なりサーチマインドの醸成 キャリアアップ 9
- 履修者募集要項 10



札幌医科大学の

事業の全体構想

文部科学省採択プログラム

「未来医療研究人材養成拠点形成事業」

文部科学省では、急速に進展する高齢化等に伴う医療課題の解決に貢献し、国内外の医学・医療の発展を強力に推進することを目的とした「未来医療研究人材養成拠点形成事業」を平成25年度から実施しており、そのテーマのひとつが「リサーチマインドを持った総合診療医の養成」となっています。このテーマによる事業の目的は、国民が将来にわたって安心して医療を受けられる環境を構築するため、地域の医療機関や市町村等と連携しながら将来の超高齢社会における地域包括ケアシステムに対応できるリサーチマインドを持った優れた総合診療医等を養成することであり、全国から59件の応募のうち札幌医科大学の「北の地域医療を支える総合診療医養成プラン」を含めて15施設が採択されています。

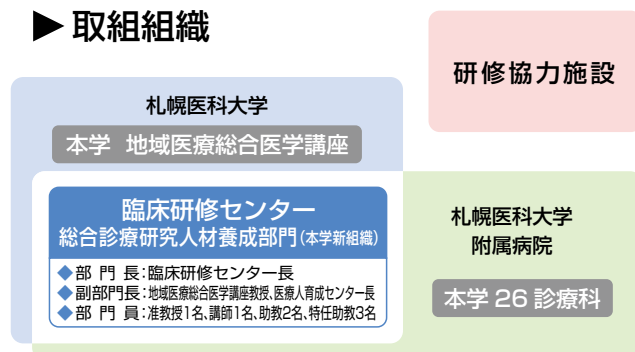
▶ 卒前・卒後地域医療一貫教育

学部教育	地域医療多職種 連携教育 (学部1～4学年)	新規取組 総合診療入門 (学部4学年)	新規取組 総合診療臨床実習 (学部5学年)
------	------------------------------	---------------------------	-----------------------------

医学部卒業後教育

新規取組 初期研修 改変充実	新規取組 後期研修 (2コース)
----------------------	------------------------

▶ 取組組織



総合診療教育を推進するプログラム。

本学の取組みである「北の地域医療を支える総合診療医養成プラン」では、臨床研修プログラムを新たに2コース設けています。

本学の事業の概要

本学では、これまでに北海道の地域医療を担う医師育成を目的とした入試制度改革や独自の地域医療教育に取り組んできました。この実績に加え、新たに卒前から卒後まで一貫した総合診療教育を推進するプログラムと、総合診療に関する研究教育の体制を新たに構築し、リサーチマインドを持った総合診療医の養成にあたります。

達成目標

- 地域の課題を発見し解決するリサーチマインドを持ち、地域医療の現場で診療に従事しながら科学的解析や研究成果の発信ができる総合診療における専門医の育成を目指します。
- 学部学生に対する地域医療マインドの醸成からはじまり、初期研修、後期研修、専門医資格取得まで、切れ目なく継続した教育体制を整備し総合診療における専門医を養成します。また、地域に根ざした総合診療マインドを持つ専門医養成コースを設けます。
- リサーチカンファレンスや指導者講習会も活用し、総合診療医の養成にあたる指導者のスキルアップと層の拡大を図ります。

総合診療医養成特化コース

総合診療医養成特化コースは、本学附属病院総合診療科での研修に加え、総合診療医育成実績のある複数の協力病院において本学から派遣した専任教員から総合診療の指導を受け、総合診療における専門医資格の取得を目指す内容です。また臨床研修のなかで、地域に根差した医学研究能力を獲得すべく疫学や予防医学等をテーマとした研究に参加することができるプログラムです。

総合診療マインドを持つ専門医養成コース

総合診療マインドを持つ専門医養成コースでは、専門医資格の取得を目指した臨床研修と同時に、総合診療科へのコンサルテーション、総合診療科のカンファレンスを通して総合診療医として必要な知識と技能を涵養することを目的としたプログラムです。

なお、この取組みでは、臨床研修に繋がる教育として早期からの総合診療能力の形成を目的とした卒前教育プログラムを構築し、学部学生のパートナーシップ力や地域医療マインドの醸成を図ることとしています。

地域包括型
診療参加臨床実習
(学部6学年)

医学部卒前教育

総合診療医養成特化コース

大学院臨床医学研究コース連動(地域医療研究指導)

地域医療への貢献
総合診療における専門医

総合診療マインドを持つ専門医養成コース

(総合診療医研修+専門医研修)

▶ 実施支援

◆ 研究教育拠点

江別市立病院
松前町立松前病院
留萌市立病院

◆ NPO るもいコホートピア

連携

道北

札幌医科大学

道南

北の地域医療を支える総合診療医養成プラン

文部科学省採択プログラム「未来医療研究人材養成拠点形成事業」——札幌医科大学の取組み

学長からごあいさつ

わが国は、将来にわたって安心して医療を受けられる環境を構築するための事業の一環として、「未来医療研究人材」を養成する拠点形成事業を開始しています。この目的は、近い将来の超高齢化社会を想定し策定した「地域包括ケアシステム」と連動でき、また地域の医療機関や行政組織と連携し、質の高い活動ができるような人材の育成にあります。すなわち、「リサーチマインドを持った優れた総合診療医等」の育成であり、本学の「北の地域医療を支える総合診療医養成プラン」は、そのねらいに合致します。

北海道がこういった事業のまさに欠かせない地域であることはいうまでもありません。北海道の総面積はわが国の22%と広範囲な医療圏を持っているにもかかわらず、人口は5%と医療人口密度は低く、地域格差も非常に大きいものがあります。その結果、北海道の医師数は全体では人口10万人対224.6人（平成24年度末）と全国平均（226.5人）と大差ありませんが、上川中部の341.9人から宗谷の90.8人と顕著な格差が存在します。特に、道北、道東、道南の遠隔地における医師数不足が著明で、北海道における地域医療の大きな課題になっています。

このような背景をもつ北海道の地域医療を質的にも維持するためには、センター病院と連携の取れたサテライト病院を配置した医療圏を構築することが現実的かつ効率的な対策といえます。地域病院では総合診療医のニーズは非常に高いものがあり、総合診療医の育成が急務であることは論を俟ちません。一方、これまでの実状は、特に遠隔地の地域医療においては、内科系専門医に総合診療医の役割を担ってもらってきたという歴史的背景もあります。これらの状況も考慮すると、一方で総合診療医の育成強化という中長期的な対策と、他方では現実にもその役割を担ってきた内科専門医に対する総合診療教育・研修の支援を行っていく必要があります。その意味で、総合診療医を目指す「総合診療医養成特化コース」のみならず内科専門医資格取得を目指す後期研修者を対象にした「総合診療マインドを持つ専門医養成コース」の2つを備えている本学の「北の地域医療を支える総合診療医養成プラン」は、北海道の地域医療を考慮した意義のある取り組みと考えています。

これらの取り組みが、地域医療のより深い理解を促進する地域医療マインド形成のためにこれまで行ってきた、本学の学部教育の特徴の1つである医学部・保健医療学部合同の地域滞在実習（利尻、留萌、釧路、別海、中標津）と強く連動したものであることは明らかです。

北海道の地域医療の実状を考慮したこの養成プランは、本年度で4年目に入ります。これまでも着実な実績が積み上げられてきていますが、より大きな成果を得るためにも地方自治体、地域病院、地域基幹病院、本学関係部署のご協力を得ながら、事業の推進に向けさらなる努力を重ねていきたいと思っています。

札幌医科大学 学長
(事業推進代表者)

塚本 泰司





札幌医科大学 医学部長

堀尾嘉幸

「北の地域医療を支える総合診療医養成プラン」によせて

北海道の面積は四国の4.5倍、九州に比べても2倍以上広く、この広大な大地に550万人ほどの人々が暮らし、さらに、そのうち3人に1人が札幌市に集中しています。つまり北海道の多くの地域は人口密度がとてもなく、過疎という言葉がそのままではまることとなります。四国や九州では人口100–130万人に1校の割合で医学部がありますが、北海道では3校のみ。つまり人口200万人弱に1医学部の割合です。地域の医療を支えることが北海道ではいかに難しいことかおわかりいただけると思います。北海道の地域医療には総合診療医という、どのような病気でも大人だけではなく場合によっては子供も見て判断し治療をおこない、必要なときには専門医に橋渡しする“オールマイティードクター”が特に必要です。

本プランはこのような厳しい医療事情を持つ北海道を支える総合診療医を養成しようとするものです。本プランでは総合診療における専門医を目指すコースと総合診療の力をもつ専門医を養成するコースの2つがあります。どちらのコースでも総合診療の能力を身につけることには変わりありません。もう1つ、本プログラムの大きな特徴は総合診療能力を身につけることを希望する学部学生に対して、特別な教育プログラムをおこなっていき、学部時代から一貫した教育によって総合診療医を育成していくことです。

本プランは大学ばかりでなく、地域の医療機関、自治体やそこに働く多くの人々のご協力のもとに成り立っております。ご協力いただいている方々に感謝申し上げますとともに、引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。



札幌医科大学附属病院 病院長
(事業推進責任者)

山下敏彦

科学的視野を備えた北の地域医療を支える 若者達の育成に向けて

札幌医科大学は、これまで北海道の地域医療における中核的役割を果たしてきました。現在も、年間約2,100人の医師を、全道の450を超える医療機関に派遣しています。このうち約380人が常勤医師として、昼夜を問わず地域医療のため奮闘しています。派遣地域は広大な北海道の全域にわたるため、中にはその地区唯一の小規模病院・医院も少なからず含まれます。そこで勤務する医師に求められるのは、多様な疾患・病態に対応できる「総合診療医」的な診療能力であると言えます。

その一方で、第一線の臨床現場においては、単に経験や慣習に基づいた医療を続けていると、医師は必ず「壁」にぶつかってしまいます。その「壁」を乗り越えるために必要なのが、科学的な分析能力・問題解決能力であり、その基盤となる「リサーチマインド」であると言えます。

札幌医科大学は、「最高レベルの医科大学をめざして」をモットーに掲げています。その名にたがわず、札幌医科大学の各部門、診療科では最先端の高度な基礎・臨床研修が推進され、充実した卒前・卒後教育システムが構築されています。そのような教育・研究環境の中で、医学部学生から研修医まで一貫した総合診療教育を行うことにより、リサーチマインドを持って地域医療に貢献し、かつ新知見を世界に向けて発信できる人材を育成することが本プランの目標とするところです。近い将来に、札幌医科大学から、本道ひいては世界の医療・医学の発展に貢献できる多くの優れた若き医師達が巣立っていくことを祈っています。

総合診療医養成特化コース

初期研修プログラム

本学初期臨床研修医で研修先に協力施設を選択する方が対象です。

初期研修の段階から総合診療的な視点を身につけることを目的とします。

総合診療医を目指す研修医受入実績のある江別市立病院、松前町立松前病院での地域医療研修では、大学が派遣する専任教員による総合診療外来・入院診療、在宅医療の指導を受けます。

<本学総合診療科>

- ◎ 総合診療科での外来検診。
- ◎ 遠隔テレビ会議方式によるプライマリ・ケアレクチャー参加。
- ◎ 協力施設での研修時の本学教員による指導。

【日程】 通年

実施(協力)施設 | 初期研修協力施設

後期研修プログラム

地域病院の総合診療部門において、多職種協働のリーダーに必要な問題解決能力を身につけ、1人で様々な医療をマネジメントできることを目的とします。

また、疫学や予防医学等をテーマとしたコホート研究等に取り組みながら、総合診療における専門医資格を取得できます。

指導と評価は本学の教員や臨床教員として委嘱された地域病院の医師が担当します。

<地域病院>

- ◎ 道内の地域病院における診療実践と本学教員等による指導。
- ◎ 全国約160箇所の医療施設を繋いだテレビ会議を通じた在宅ケアや日常疾患のマネジメントを修得。
- ◎ 疫学や予防医学等をテーマとしたコホート研究の実践。
- ◎ 総合診療における専門医資格の取得。

【日程】 3年

実施(協力)施設 | 総合診療科後期研修協力施設
※一定期間、研究教育拠点病院にて研修が必要です

地域医療を支える研究マインドの醸成

プライマリ・ケアを推進するための研究を行う能力を身につけることを目的とします。

- ◎ 研究教育拠点が、地域に根ざした研究(例:疫学研究、質的研究、臨床研究)を実施および指導します。大学教員指導の下、論文作成を最終目標とします。

【日程】 通年

実施(協力)施設 | 研究教育拠点(札幌医科大学、江別市立病院、松前町立松前病院、留萌市立病院)

振り返りカンファレンス

総合診療医に必要な省察能力を涵養することを目的とします。

- ◎ 履修者が前月に起こった事例をSEA*として発表する振り返りカンファレンスをインターネットを利用し開催。発表した事例はポートフォリオとして蓄積し、専門医受験に備えます。

【日程】 月2回

*SEA: 事例や症例に関して、当事者が振り返り、今後の改善に対する提言をすること。

総合診療マインドを持つ専門医養成コース

内科系専門医資格取得のための研修中の後期研修医を対象に、基本的な総合診療の知識と技能の修得を目的とします。

外来総合診療研修

総合診療の対象疾患が原因と思われる症状・訴えについて、診断と治療方針の立案を行います。その上で本学附属病院の総合診療科外来にコンサルテーションを行い、指導と評価を受けます。

【日程】 通年





PCLS : primary care lecture series 毎週水・木全国に発信



各テーマ毎(教育、新患、倫理等)のカンファレンス

日本プライマリ・ケア連合学会参加

日本プライマリ・ケア連合学会関連セミナー等への参加を通じて総合診療に関する学びを深め、総合診療医としての自覚を涵養します。また、学会において発表することを目指します。

- ◎ 日本プライマリ・ケア連合学会セミナーへの参加。
- ◎ 日本プライマリ・ケア学会北海道ブロック支部総会への参加。

〔日程〕 セミナー 年4回／総会 年1回

実施(協力)施設 | 開催施設

病棟総合診療研修

専門医研修を行っている診療科に入院中の患者の通常疾患(common disease)に対する対応(診断と治療)、退院後の療養、かかりつけ医や介護者との連携について、総合診療科へのコンサルテーションを通して、総合診療における専門医の指導と評価を受けます。

〔日程〕 通年

各コース共通

合同オリエンテーション

各プログラム履修生を対象にプログラムの理解を深め、円滑な履修を図ることを目的とします。

- ◎ 各プログラム内容、年間事業スケジュール、各種手続き等について説明を行います。

〔日程〕 年1回

総合診療セミナー

各プログラム履修生を対象に総合診療に関する幅広い知識・スキルの修得を目的とします。

- ◎ 総合診療医、家庭医又は地域医療を実践している医師に講師として依頼しレクチャーを行います。

〔日程〕 年6回

総合診療リサーチカンファレンス

各プログラム履修生を対象に地域のニーズをふまえた総合的研究指導を行います。

- ◎ 履修生と特任教員が一緒になって研究を推進し、その進捗状況を確認するとともに討論を行います。

〔日程〕 年2回程度

スキルラボトレーニング

総合診療を行う上で必要な手技のトレーニングをスキルラボで行います。

〔日程〕 通年



合同オリエンテーション

卒業教育につながる充実した学部教育と、一貫した総合診療プログラム。

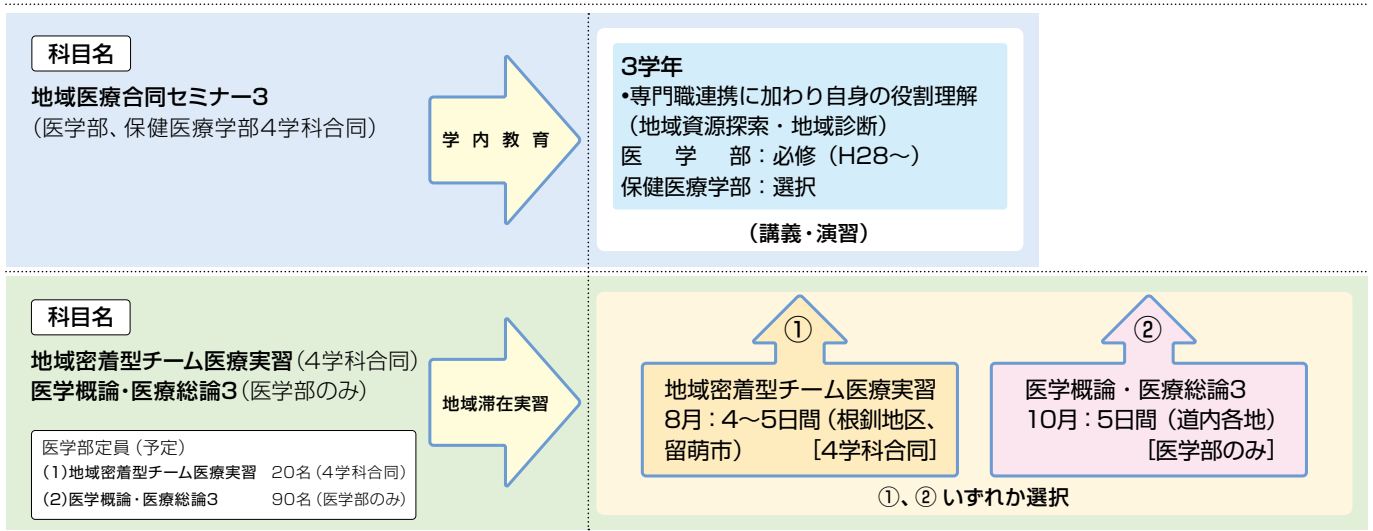
●プログラム

	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年
医学部 保健医療学部 合同科目	地域医療合同セミナー 積み上げ式一貫教育 (講義・演習・地域滞在実習)					
	平成26年度～ 医学部 (必修)	医学部 (選択)	平成28年度～ 医学部 (必修)	医学部 (選択)		
医学部科目				総合診療入門 (必修)	地域包括型臨床実習 (診療参加型 必修) ・選択 (平成25年度～) ・必修 (平成29年度～) 総合診療臨床実習 (必修)	総合診療臨床実習 (選択)

「未来医療研究人材養成拠点形成事業」での新しい取り組み

《平成28年度の取組》 ※平成28年度より医学部必修

【地域医療合同セミナー 3】、【地域密着型チーム医療実習】、【医学概論・医療総論 3】の必修化



学習目標：北海道の地域医療の現状、必要とされる支援策の理解を深め、上級学年の教育に繋げる。

総合診療入門

臨床実習の準備教育として、平成27年度トライアル実施した科目の本格導入。 ◎ 4年前期必修



地域総合診療特別講義

総合診療医に関する理解を深め、専門医資格取得に向けた動機付けを行うことを目的とします。

- ◎ 事例を通して、総合診療の理解を深めます。また地域枠制度、卒業後のキャリア形成、地域における医療の現状と課題、総合診療医における専門医制度等についての説明を行います。

地域総合診療合同セミナー

総合診療に関する理解を深め、地域における総合診療の充実を図るため、地域枠学生と地域枠卒研修医のネットワークを構築することを目的とします。

- ◎ 講師による地域医療、総合診療に関するセミナー、地域枠卒研修医による事例発表、意見交換会などを行います。



継続的なリサーチマインドの醸成

リサーチマインドを持つ
総合診療医

地域の課題を発見し解決する

リサーチの成果を学ぶ

学部学生

第1学年：医学入門セミナー（3単位）

第2～6学年：MD-PhDプログラムの選択

第3学年：基礎医学の研究室配属（4週間）

第4学年：臨床疫学（0.5単位）

研修医・大学院生

- ・本学大学院医学研究科共通講義
- ・総合診療リサーチカンファレンス
- ・北海道内コホート研究での実施地域学習（端野・壮瞥町研究、NPOるもいコホートピアなど）
- ・研究課題に関する個別指導による研究推進



キャリアアップ

キャリアアップに繋がる情報の充実

本事業のWebサイトに学内で受講できるセミナーや研修を掲載

- 先端医学セミナー：学内外の講師を招いた講演
- 院内講習会：医療安全、医療倫理、感染対策、医療関連法規など
- 指導者講習：臨床研修指導医養成講習会、FD教育セミナーなど

女性医師のキャリア形成支援関連 Webサイトへのリンク

- 北海道医師会 女性医師等支援相談窓口

e-ラーニング環境の充実

遠隔地におけるインターネットを活用した教育

- がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
- 手技コンサルト(Procedures Consult)

医師キャリア支援センターの設置準備

平成28年度までにセンター構築のための計画策定

- 新専門医制度に対応した病院体制におけるキャリア支援策の検討
- ジェンダーに関する課題の抽出とその解決策の提案
- キャリア中断後のリカレント教育体制の導入計画
- キャリア支援のための情報ネットワークの活用計画の策定



北の地域医療を支える総合診療医養成プラン

履修者募集要項

1. 各コース概要

(1) 総合診療医養成特化コース

目的	総合診療における専門医資格を取得すると同時に、臨床研究の手法を学び、自己解決能力を高めた総合診療医養成を図る。
応募資格	臨床研修医（初期研修）：札幌医科大学附属病院、研究教育拠点病院で初期臨床研修を行う者 後期研修医（専門研修医）：地域医療総合医学講座の後期研修プログラムを選択、かつ、一定期間研究教育拠点施設に勤務可能な者 研究教育拠点病院で総合診療の専門医認定プログラムを選択している者
定員	10名程度
主な内容	本学教員による総合診療の指導の拡充、学会への参加支援、研究への参画。

(2) 総合診療マインドを持つ専門医養成コース

目的	内科系専門医資格取得のための研修中の後期研修医を対象に、基本的な総合診療の知識と技能を修得する。
応募資格	札幌医科大学大学院生、札幌医科大学附属病院で後期臨床研修を行う者
定員	20名程度（大学院生10名、後期研修医10名）
主な内容	外来総合診療研修、病棟総合診療研修。いずれも大学院の単位として取得となります。

※ 各プログラム内容の詳細については、別紙のプログラム説明、ホームページをご覧ください。URL：<http://web.sapmed.ac.jp/miraigp/>

2. 履修期間

臨床研修医（初期研修）：原則2年間（平成28年4月1日から平成30年3月31日まで）

後期研修医（専門研修医）、大学院生：原則3年間（平成28年4月1日から平成31年3月31日まで）

※ 大学院生の場合は、在学4年間のうち3年間を履修期間とします。

※ 本事業は文部科学省補助事業として実施しているため補助事業終了となる平成30年度のプログラム内容については変更となる可能性があります。

3. 募集期間

平成28年4月1日（金）～平成28年5月20日（金）

4. 応募方法

(1) 提出書類

- ① 平成28年度 札幌医科大学 北の地域医療を支える総合診療医養成プラン履修届
- ② 札幌医科大学以外の所属の方については上記①のほか、「履歴書」及び「所属長の履修許可書」（いずれも様式自由）を提出してください。

※ 履修届は次のホームページからダウンロードしてください。

URL : <http://web.sapmed.ac.jp/miraigp/>

(2) 提出先

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目 基礎医学研究棟5階

札幌医科大学附属病院臨床研修センター 総合診療研究人材養成部門 (未来医療GP)

※ 郵送の場合: 封筒の表面に「総合診療プラン履修届在中」と記載してください。
募集期間内に必着とします。

※ 持参の場合: 受付時間: 9~17時 (ただし、土曜日、日曜日及び祝祭日は受け付けません。)

5. 選考方法

募集定員を大幅に上回った場合のみ、面接による選考を実施し、履修者を決定します。

面接を実施する場合の日程等については、別途該当者あてに直接連絡します。

6. 結果通知

平成28年5月頃、書面にて結果を通知します。

7. プログラム参加費用等

本プログラムの履修料は無料です。

プログラム参加に要する旅費等については、札幌医科大学の規定に基づき支給します。

8. 問い合わせ先

プログラム内容の詳細やご不明な点については、事務局までお問い合わせください。

担当事務局

札幌医科大学附属病院臨床研修センター 総合診療研究人材養成部門

TEL 011-611-2111 内線 (4202) E-mail gp.mirai@sapmed.ac.jp



アクセス【交通機関】

- 《地下鉄》最寄り駅：「西18丁目」
- ◎経路：札幌駅・大通駅から
 - ・南北線「さっぽろ」駅（JR札幌駅直結）から「大通」駅（2分）
 - ・「大通」駅で東西線「宮の沢」行に乗換え「西18丁目」駅（4分）下車
 - ・「西18丁目」駅6番出口より徒歩3分から5分。
-
- 《市電》最寄り駅：「西15丁目」
- ◎経路：西4丁目電停から
 - ・「西4丁目」駅から「西15丁目」駅（12分）下車
 - ・「西15丁目」駅より徒歩2分。
-
- 《バス》最寄りバス停：「医大病院前」
- ◎経路：札幌駅前（バスターミナル）から、JR北海道バス
 - ・JR札幌駅「バスターミナル7番のりば」から、JR北海道バス（啓明線【51】）「医大病院前」（10分）下車
 - ◎経路：桑園駅から、JR北海道バス
 - ・桑園駅（駅前ロータリー）からJR北海道バス（桑園山線【桑11】）「医大病院前」（6分）下車



**Sapporo
Medical University**

北海道公立大学法人 **札幌医科大学** | 札幌医科大学附属病院 臨床研修センター（総合診療研究人材養成部門）
 〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目 TEL 011-611-2111(代表) | 北の地域医療を支える総合研修医養成プラン

詳細は随時ホームページで <http://web.sapmed.ac.jp/miraigp/>

お問い合わせ・資料請求は メールアドレス gp.mirai@sapmed.ac.jp 電話番号 011-611-2111 (内線4202) 【受付時間】 9時～17時